

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコングレスワークショップ 18	
企画名	情報通信技術 (ICT) の活用でヘルスリテラシー格差は減らせるか?
日時	2016年6月10日(金) 17:10～18:40
会場	第12会場 (台東区民会館 9階 ホール(1))
企画責任者	近藤尚己 (東京大学)
定員	72名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>【ねらい】 ヘルスリテラシーは健康情報を収集・理解・活用することによって生活の質向上に向けた適切な意思決定ができる能力のことである(世界保健機関定義)。貧困などの社会背景による健康格差の理由の一つにヘルスリテラシー格差があることが知られている。近年、インターネットやスマートフォンなどのICTの普及により、健康情報へのアクセスが格段に向上した。ICTにはヘルスリテラシーの改善への貢献が期待される一方で、玉石混交な健康情報がヘルスリテラシーの低い人々を翻弄している現状が危惧されている。国内外のICTを通じたヘルスリテラシー向上に向けた取り組みの現状を紹介したのち、今後の進め方について議論したい。</p>	
<p>【概要】</p> <p>①講演「ICTを活用したヘルスリテラシー向上の取り組みの現状と課題」</p> <p>②講演「その健康格差対策への応用に向けた理論と方法」</p> <p>③取り組みの事例紹介</p> <p>④グループ討論</p>	